



No.37

2015年2月1日 発行
発行 仙北市議会
編集 仙北市議会
広報編集・特別委員会

こんにちは

仙北市議会です



**出初式、分列行進
1月6日西木町漆原**

目次	第7回仙北市議会12月定例会	2P
	予算常任委員会報告	3P
	一般質問	4~10P
	各常任委員会	11~13P
	議会報告会	14P
	予算常任委員長報告	15P
	傍聴席・編集後記	16P

議会力を 支える議員力

仙北市議会議長

青柳宗五郎

執行機関である首長は、予算の編成権と、殆どの議案の提出権を持っています。これが首長の優位性と言われる所以です。

しかし、19人の議員が、首長より何倍も、徹底して市民と結びつく事によって、首長をはるかに凌ぐ、情報を持つ事ができるはずで、政策を判断する上で、最も大切な情報は、役所の中ではなく、地域にあるからです。これらの情報を基に議論を尽くした結果としての全体合意が、行政を動かす得る「議会力」となるのです。

昨年の審議結果では、「4件の修正可決」と「1件の否決」となり、客観的には市議会が機能していると言えます。

議員には、政府の課題や論点を抽出できる分析力と洞察力が求められます。

普段の研鑽による「議員力」に基づき、市民にとって、分かり易い議論の積み重ねがあって初めて、信頼は付いてくるものと考えます。

人口減少が自治体の存亡をも脅かす昨今、市民、議会、市長や職員との更なる対話が重要となります。議会力を高め、それを支える議員力を高める事が不可欠なのです。

合併から10年を迎える節目にあり、あらゆる人々との対話により、仙北市の経営に向けた着実な合意づくりができてこそ、次の10年に繋がるものと確信しています。

(1月8日記)